

SGEC 分別・表示事業体審査報告書

認定統合事業体 北見地方 SGEC ネットワーク

平成 2 0 年 5 月

(社)全国林業改良普及協会

目 次

I . 北見地方 SGEC ネットワークの概要・確認資料一覧

II . 審査経過

III . 審査における判定事由書

I. 北見地方 SGEC ネットワークの概要

1. 申請者名称 北見地方 SGEC ネットワーク
会長 佐藤 教誘
(所在地) 北海道北見市北 4 条東 2 丁目 11 番地
2. 認定統合事業体名 北見地方 SGEC ネットワーク (34 社)
3. 認定対象業種 素材生産・販売、製材、集成加工、木材加工、木工、プレカット、木材・製品販売、ペレット製造・販売、チップ・バーク製造・販売、建設、造園、土木

4. 北見地方 SGEC ネットワーク (34 社) の沿革・概要

北見地方 SGEC ネットワーク (以下: 同ネットワーク) は、全林野面積の 39% に当たる 29 万 7 千 ha で SGEC 森林認証 (平成 19 年末) が進み、日本最大の認証森林エリアが形成されている北海道網走支庁管内において、素材生産から加工・流通、建設までに携わる 3 4 社の事業体が連携して、SGEC 分別・表示システムに基づく川上から川下までの一体的な認証林産物の流れを形成しようと設立された統合事業体である。

同ネットワークでは、統合事業体認定に取り組むに当たり、規約に以下の「活動方針」を定めている。(活動方針: 以下抜粋)

- (1) (分別表示) 統合認定事業体として、SGEC 森林認証された森林から産出される林産物の分別管理と表示管理を的確に推進する。
- (2) (需要拡大) 認証林産物の利用を推進するため、構成員の連携のもとで、次の活動に取り組む。
 - ① (安定供給) 認証林買受量の情報を共有し、認定製材工場への原木供給、認定建設企業への製材品部材の融通供給など、ネットワーク全体で安定供給に努める。
 - ② (販路確保) ネットワークとして、積極的に消費者に届く販路の開拓・確保に努める。
 - ③ (普及宣伝) 森林認証に興味を持たれた関係者には参加を呼びかけるとともに、消費者への浸透を図るため、口込み、マスメディアでの情報発信に努める。
 - ④ (関係機関への協力要請) 関係機関に対し、ネットワークとして各種提言や協力要請・要望を行う。
- (3) (趣旨の徹底) 構成員への SGEC 分別・表示システムに基づく取り組みの周知徹底を図る。
- (4) (認証機関との連携) 毎年行われる SGEC 管理審査等、『緑の循環』認証会議からの連絡事項などを取りまとめる。

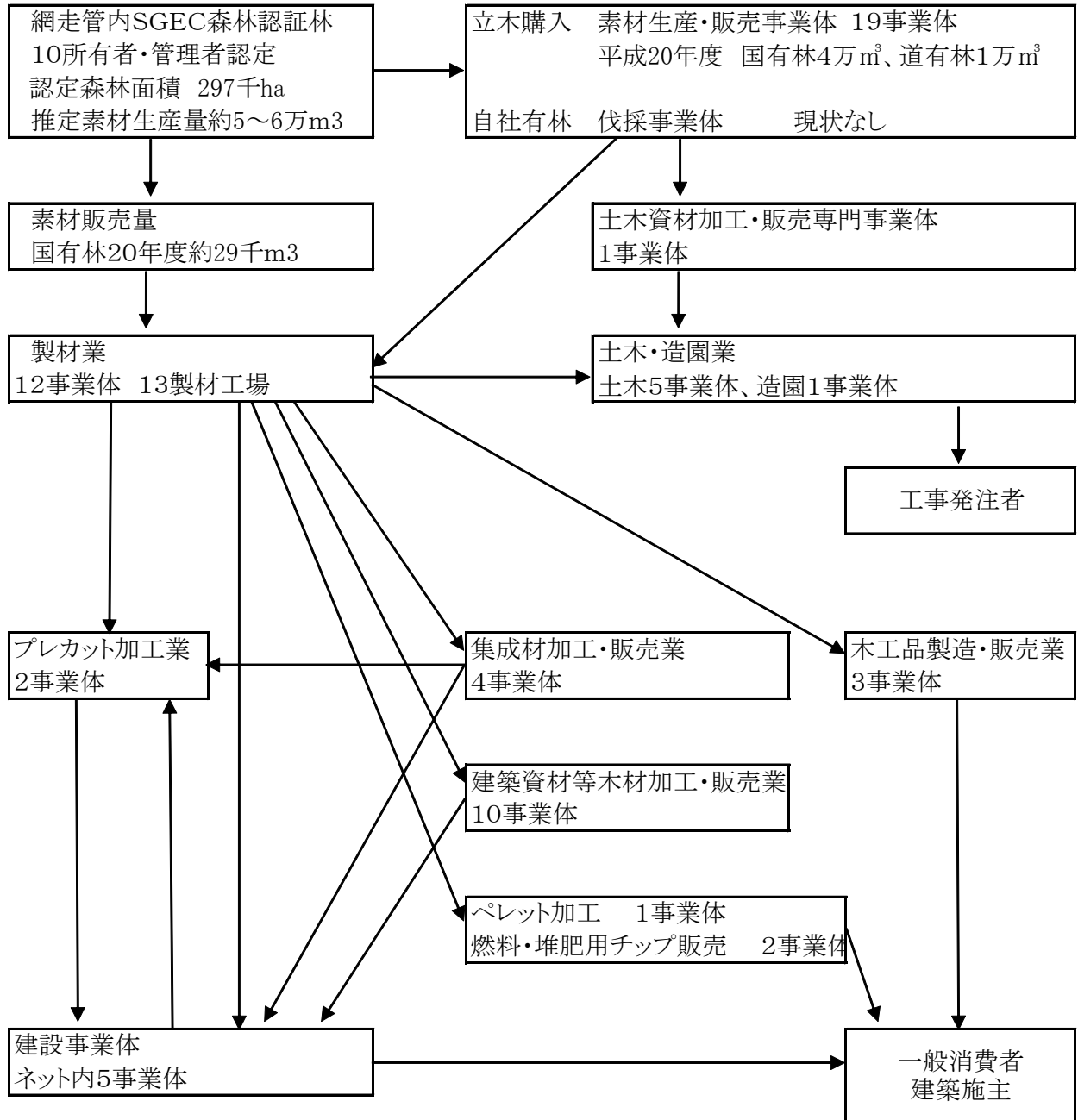
同ネットワーク構成事業体 34 社の業種と取り扱い林産物は、次表の通りである。

【北見地方SGECネットワーク参加事業体(業種別)】

名 称	申請業種	主な取扱品目
赤坂木材(株)	素材生産・販売	素材
(株)横山興林	素材生産・販売	素材
渡部林業(株)	素材生産・販売	素材
興雄地区森林育成(協)	素材生産・販売	素材
王木林材(株)道北出張所雄武事業所	素材生産・販売	素材
(株)グリーンたきのうえ	素材生産・販売	素材
北農木材工業(株)	素材生産、木材・製品販売	素材、梱包材
(有)眞貝林工	素材生産・販売、木質ペレット製造・販売	素材、木質ペレット
矢口産業	素材生産・販売、土木	素材、土木
(株)遠藤	素材生産・販売、土木、造園	素材、土木・造園
(株)遠藤組	素材生産・販売、建設、土木	素材、建設・土木
北洋木材工業(株)	素材生産、木材加工、木材・製品販売	素材、家具・建具・造作用乾燥製材
滝上運輸(株)	素材生産、木材加工、木材・製品販売	素材、燃料用・堆肥用チップ
(株)エコ・グリーンおこっぺ	素材生産、木材加工、木材・製品販売	素材、燃料用・堆肥用チップ、バーク堆肥
大澤木材(株)常呂工場	素材生産、製材、木材加工、木材・製品販売	素材、一般建築材、ラミナ原板、パレット・梱包材
北見チップ(株)	素材生産、製材、木材加工、木材・製品販売	素材、パレット、円柱材
江本木材産業(株)	素材生産、製材、木材・製品販売	素材、一般建築材、燃料用チップ・おが粉
井上産業(株)	素材生産、製材、木材・製品販売、建設、土木	素材、一般建築材、建設、土木
扶桑林業(株)	素材生産、製材、プレカット、木材・製品販売	素材、一般建築材、プレカット加工品
(協)ウッディハウスおけと	製材、プレカット、木材・製品販売	素材、梱包材、羽柄材、ラミナ原板、プレカット・加工製品(物置等)
ルベシベ木材工業(株)	製材、木材加工、木材・製品販売	素材、一般建築材、ドラム材、パレット
北見第一木材(株)	製材、木材加工、木材・製品販売	一般建築材、木材加工品(フラッシュコア材等)
加藤木材工業(株)	製材、木工、木材・製品販売	家具・木工用部材、木工品、梱包材
(株)湧別林産	製材、木材・製品販売	一般建築材、ラミナ原板、パレット・梱包材、
(株)西木材店	製材、木材・製品販売	一般建築材、ラミナ原板、梱包材
北見木材(株)	製材、木材加工、木工、木材・製品販売、建設、土木	素材、一般建築材、集成材(楽器材、構造・造作用)、木工品、建設・土木
渡瀬木材(株)	木材・製品販売	製材品、楽器・木工部材
丸瀬布林産協同組合	集成加工、木材加工、木工、木材・製品販売	素材、集成材(楽器用、構造・造作用)、木工品
留辺蘂木工(株)	集成加工、木材加工、木材・製品販売	造作用集成材、木材加工品(羽目板、モールディング等)
(協)オホーツクウッドピア	集成加工、木材加工、木材・製品販売	構造用集成材(大・中・小断面)、建築用羽柄材
(協)オホーツクウッドテック	集成加工、木材加工、木材・製品販売	構造用集成材(中・小断面)
丸高産業(株)	木材加工、木材・製品販売	木製土木資材(丸棒加工品等)
浜中建設(株)	建設	建設
(株)桑原住建	建設	建設

ネットワーク内で想定される認証林産物の流通経路を次表に示す。

〈ネット内認証林産物の流通経路〉



※ 重複業務事業体があるため、事業体数合計は、34と一致しない。

5. 分別・表示管理体制

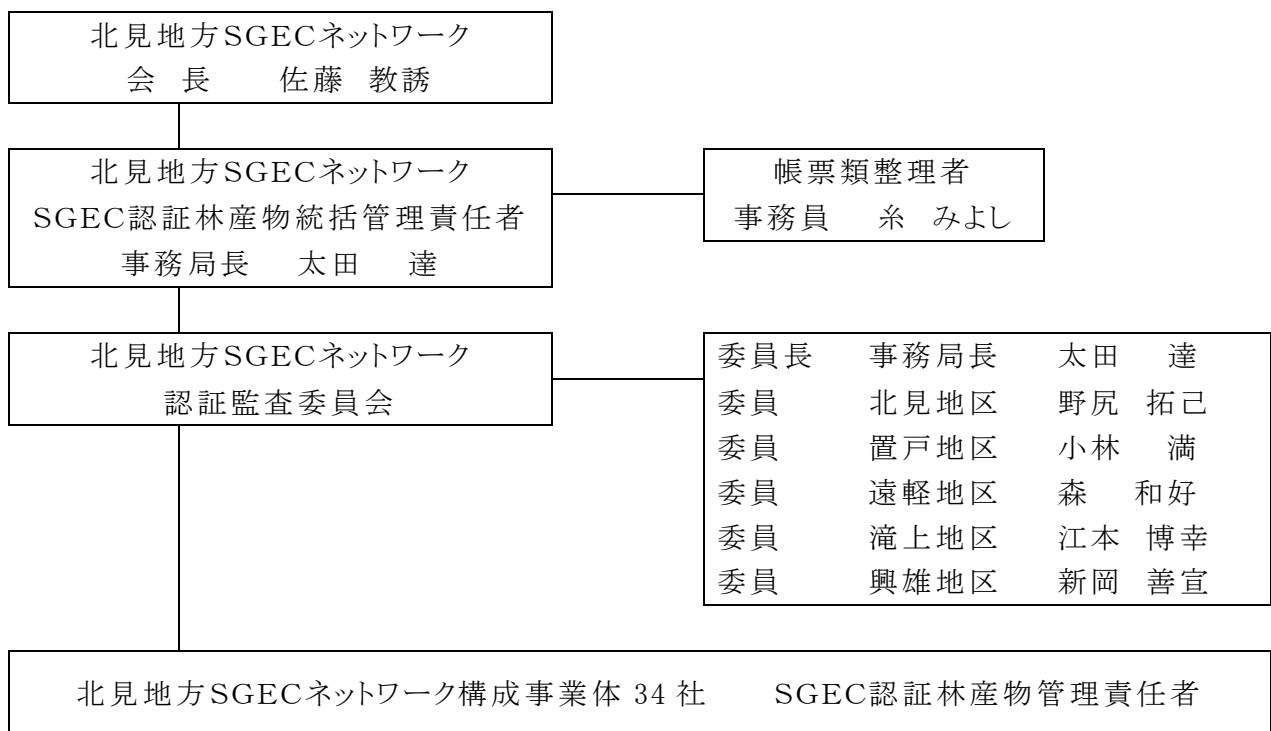
同ネットワークでは、ネットワーク「認証林産物の分別・表示管理方針」及び「認証林産物の分別・表示管理体制」、「認証林産物の分別・表示管理計画」を定めると共に、認証林産物の統一的な帳票・在庫管理及び内部監査の方法を定めた「SGEC 認定事業体総合管理マニュアル」を作成して、統合事業体としての一元的管理体制を整備している。

これにより、ネットワーク事務局には、「認証林産物統括管理責任者（以下：統括責任者）」及び、各地区(5 地区)の審査委員からなる「認証監査委員会」が設置され、構成各事業体の分別・表示、帳簿類管理の個別指導・内部監査を行う体制がとられると共に、これら帳票・記録書類のコピーが保管される。

各構成事業体には、自社現場作業工程を管理する「認証林産物管理責任者」が置かれ、上記ネットワーク「認証林産物の分別・表示管理方針」等に基づき、各構成事業体が自社の作業工程に沿って作成したより詳細な「分別・表示管理方針」によって分別・表示を実施し、認証林産物の分別・表示管理の徹底を図る体制としている。

なお、各事業体の認証林産物管理責任者は、自社の内部監査を行い、検査時期・現場担当者・検査内容・検査所見・検査者名を記録するとともに、統一書式による「SGEC 認証材入荷・在庫管理表(認証林産物の取扱記録)」を6ヶ月ごとに事務局に提出し、ネットワーク「認証監査委員会」は、各構成事業体の内部監査を年に1回以上行うことを定めている。

【北見地方 SGEC ネットワーク管理体制図】



(主な確認資料)

- ・北見地方 SGEC ネットワーク規約
- ・北見地方 SGEC ネットワーク参加者名簿
- ・北見地方 SGEC ネットワーク「設立総会議案書」及び議事録
- ・北見地方 SGEC ネットワーク「認証林産物の分別・表示管理方針書」
- ・北見地方 SGEC ネットワーク「認証林産物の分別・表示管理体制」
- ・北見地方 SGEC ネットワーク「認証林産物の分別・表示管理計画」
- ・ネット内 SGEC 森林認証林産物の流通経路並びに追跡調査計画
- ・北見地方 SGEC ネットワーク「SGEC 認定事業体総合管理マニュアル」
- ・北見地方 SGEC ネットワーク「認証林産物出荷証明書(案)」
- ・北見地方 SGEC ネットワーク「SGEC 認証材入荷・在庫管理表(案)」
- ・北見地方 SGEC ネットワーク「内部監査項目チェックリスト」
- ・北見地方 SGEC ネットワーク参加同意書(34 社)
- ・各社概要・実績報告(34 社)
- ・各社認証林産物の分別・表示管理方針書(34 社)
- ・各社認証林産物の分別・表示管理体制図(34 社)
- ・各社認証林産物の分別・表示管理計画書(34 社)

II. 審査経過・確認資料一覧・写真

1. 北見地方 SGEC ネットワークの審査経過

北見地方 SGEC ネットワークの審査は、(社)全国林業改良普及協会認証審査センター審査員：児島裕、北海道地区専門審査員：橋場一行・米田鉄男・横石幸雄の4名が担当した。

【審査申込】

平成20年3月17日に統合事業体としての審査申込みを受け、北見地方 SGEC ネットワーク設立準備会において、下記内容について説明した。

(内 容)

1. SGEC 分別・表示システム運営規程及び実施要領説明
2. 全林協の審査手順についての説明
3. 審査申込書の受付、関連資料の確認

【認定審査日程】

統合事業体および構成事業体の審査は、次表の日程で実施した。

審査日	審査事業体	所在地	事業体説明者	審査内容	審査員
3月17日	北見地方 SGEC ネットワーク設立準備会	北見市	(事務局) 北見地方木協連 専務理事太田達 他17名	SGEC 森林認証 分別・表示手順 等の説明	児島
	北見木材株式会社	遠軽町	代表取締役 廣瀬英雄	書類・現場確認	児島
	渡瀬木材株式会社	遠軽町	常務理事 渡瀬松男	書類・現場確認	児島
	丸瀬布林産 協同組合	遠軽町	常務理事 渡瀬松男	書類・現場確認	児島
	丸高産業株式会社	遠軽町	代表取締役 能正政寛	書類・現場確認	児島
4月21日	大澤木材株式会社 常呂工場	北見市	専務取締役 大澤俊雄	書類・現場確認	児島
	渡部林業株式会社	佐呂間町	営業部長 水戸 勝	書類・現場確認	児島
	株式会社湧別林産	湧別町	取締役専務 脇坂敏夫	書類・現場確認	児島
	株式会社矢口産業	紋別市	専務取締役 矢口 徹	書類・現場確認	児島

審査日	審査事業体	所在地	事業体説明者	審査内容	審査員
4月22日	株式会社エコ・グリーンおこっぺ	興部町	取締役常務 藤田 進	書類・現場確認	児島
	興雄地区森林育成 協同組合	雄武町	専務理事 新岡善宣	書類・現場確認	児島
	王木林材株式会社 雄武事業所	雄武町	事業所主任 古澤優喜雄	書類・現場確認	児島
	浜中建設(株)	滝上町	代表取締役 山木忠彦	書類・現場確認	児島
	(株)桑原住建	滝上町	代表取締役 桑原 修	書類・現場確認	児島
4月23日	有限会社眞貝林工	滝上町	代表取締役 眞貝眞佐喜	書類・現場確認	児島
	加藤木材工業 株式会社	滝上町	代表取締役 加藤範雄	書類・現場確認	児島
	北見地方 SGEC ネット ワーク設立総会	滝上町	佐藤教誘会長 以下(32社出席)	ネットワーク規約・管理方針 マニュアル等の議決	児島・橋場 米田・横石
4月24日	江本木材産業 株式会社	滝上町	代表取締役 江本博幸	書類・現場確認	児島・米田
	井上産業株式会社 滝上工場	滝上町	工場長 住吉栄治	書類・現場確認	橋場・横石
	滝上運輸株式会社	滝上町	取締役竹内正美	書類・現場確認	児島
	株式会社グリーン たきのうえ	滝上町	取締役 吉田哲治	書類・現場確認	児島
	井上産業株式会社	遠軽町	取締役 森和好 取締役佐藤由和	書類・現場確認	児島
	協同組合オホーツ クウッドテック	遠軽町	代表理事 井上靖男	書類・現場確認	児島
	株式会社横山興林	遠軽町	代表取締役 安藤不二男	書類・現場確認	児島
	扶桑林業株式会社	北見市	工場長中島敦史 山林部主任中根頌二	書類・現場確認	橋場・横石
	株式会社 ⊖西木材店	北見市	代表取締役 西 誠一 取締役専務西 嘉隆	書類・現場確認	橋場・横石
	ルベシベ木材工業 株式会社	北見市	代表取締役 谷嶋宏之 工場長 浅野日学	書類・現場確認	米田
	留辺薬木工 株式会社	北見市	取締役社長 野尻拓己 専務取締役 野尻 裕	書類・現場確認	米田

審査日	審査事業体	所在地	事業体説明者	審査内容	審査員
4月25日	北見第一木材株式会社	北見市	代表取締役 田尾忠正 製造課長 海田宏幸	書類・現場確認	橋場・横石
	北見チップ株式会社	北見市	代表取締役 岡田邦仁	書類・現場確認	橋場・横石
	北洋木材工業株式会社	北見市	工場長 福井英俊	書類・現場確認	橋場・横石
	赤坂木材株式会社	北見市	代表取締役 岡本常男 取締役部長 高橋幸雄	書類・現場確認	米田
	株式会社遠藤	北見市	常務取締役 遠藤哲則	書類・現場確認	米田
	株式会社遠藤組	置戸町	代表取締役 遠藤耐蔵 取締役専務 遠藤智子	書類・現場確認	米田
	協同組合オホーツクウッドピア	置戸町	専務理事 板垣孝夫	書類・現場確認	児島
	協同組合ウッディハウスおけと	置戸町	専務理事 小林 満	書類・現場確認	児島
	北農木材工業株式会社	置戸町	代表取締役 嶺 憲一	書類・現場確認	児島
4月26日	北見地方 SGEC ネットワーク事務局	北見市	事務局長 太田 達	書類最終確認	児島

(審査内容概要)

1. 北見地方 SGEC ネットワーク(統合事業体)事務局の置かれた北見地方木材協同組合連合会において、提出された書類に基づいたネットワークの活動及び一元的分別・表示管理計画の説明を受けるとともに、森林認証・分別表示についての説明を行い、SGEC 分別・表示システム諸規定の遵守意志を確認した。
2. 参加事業体各社の事業の概要、事業体認定を取得した後の分別・表示の考え方や管理方針、認証林産物の管理計画、分別・表示管理の体制等について説明を受け、併せて関連資料の審査を行った。
3. 参加事業体各社工場等を順次調査し、素材生産から、各種加工・流通、建設など、ネットワーク内での木材の流れ、および現場管理の仕組み等について確認を行った。
4. ネットワーク(統合事業体)事務局に統合事業体認定を取得した後の、統一的な管理方針、認証林産物の管理計画、分別・表示管理体制、流通戦略、内部監査の方法等について聞き取りを行い、実行意思を確認した。

平成 20 年 5 月 26 日 / 審査委員会

(委員名)

元東京大学教授・農学博士	山根 明臣
元東京農業大学教授・農学博士	河原 輝彦
木構造振興株式会社専務取締役・農学博士	西村 勝美
東京農工大学教授・農学博士	土屋 俊幸
(社)林木育種協会理事長	真柴 孝司

(事務局)

(社)全国林業改良普及協会 専務理事	渡辺 政一
同 認証審査センター	児島 裕
同 認証審査センター	野田 昭一

(内 容)

1. 現地確認の結果及び、SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき設定した「統合事業体審査要件」ごとの審査内容を各委員に説明した。
2. 提出資料、実行体制、生産・流通現場での管理の仕組み等から、申請者は認定に値する統合事業体であるものと判定された。

Ⅲ. 北見地方 SGEC ネットワークの審査における判定事由書

SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき、作成した全林協「SGEC 統合事業体認定審査基準・指標」の 12 項目を審査要件とした。

これら「審査要件」に基づいて、「認定審査」を行い、審査委員に諮ったところ、北見地方 SGEC ネットワークは、認定に値する統合事業体であるとして判定された。

なお、審査委員会により、認定所得後の「向上目標」として下記が付記された。

【向上目標】

1. 「北見地方 SGEC ネットワーク認証林産物の分別・表示管理方針」及び、各構成事業体「認証林産物の分別・表示管理方針」に従い、分別・表示管理を徹底すること。
2. ネットワーク事務局は、構成員に対する内部監査を的確に行うこと。

【判定事由】

基準1 経営の健全性

1-1 / 妥当である

統合事業体としての体制が整い、持続的に事業活動を行える組織である。

北見地方 SGEC ネットワーク(以下:同ネットワーク)は、日本最大の認証森林エリアが形成されている北海道網走支庁管内において、素材生産から加工・流通、建設までに携わる 34 社の事業体が連携して、SGEC 分別・表示システムに基づく川上から川下までの一体的な認証林産物の安定・継続した流通を形成しようと設立された統合事業体である。

同ネットワーク規約等により、事務局体制及び活動方針を確認した。

1-2 / 妥当である

連携して認証林産物の利用を推進することを目的として活動する組織である。

同ネットワークは、北見市の北見地方木材協会に事務局を置いて活動する統合事業体であり、構成員の連携のもとで、SGEC 森林認証された森林から産出される林産物の分別管理と表示管理を的確に推進し、認証林産物の需要拡大に取り組むことを活動方針としている。

基準2 認証林産物取扱の業態

2-1 / 妥当である

認証林産物を取り扱う事業体として、事業目的および内容が適合している。

同ネットワーク構成会員 34 社の事業内容は、素材生産・販売、製材、集成加工、木材加工、木工、プレカット、木材・製品販売、ペレット製造・販売、チップ・バーク製造・販売、建設、造園、土木と多岐にわたるが、いずれも認証林産物の生産・加工・流通に関連する業種であり、前記「活動方針」から、SGEC 認定事業体としての事業目的及び内容は適合している。

2-2 / 妥当である

認証森林所有者・管理者または認定事業体と反復継続して取引関係にある。

同ネットワークの活動する北海道網走管内は、全林野面積の 39%に当たる 29 万 7 千 ha で SGEC 森林認証(平成 19 年末)が進んだ日本最大の認証森林エリアであり、構成会員は、地元木材関係企業として「網走西部森林管理署管内国有林」など認証森林所有者・管理者と反復継続した取引関係にあることを確認した。

2-3 / 妥当である

認証林産物の普及および利用促進、新たな用途開発について意欲的である。

今回のグループでの取り組みは、「今後、北見地方において増加する認証林産物を、『緑の循環』認証会議の基本理念の下、SGEC 分別・表示システムに基づく川上から川下までの一体的な林産物の流れを、構成員の連携のもとに形成することで、認証林産物のトレーサビリティを確立し、地元認証材の消費拡大を通じて、森林環境の保全と循環型社会の形成を推進する(同ネットワーク規約より抜粋)」ことを目的としており、認証林買受量情報の共有や、認定製材工場への原木供給、認定建設企業への製材品部材の融通供給など、安定供給と、積極的なPRによる販路の開拓・確保に努めることを活動方針としている。

基準3 分別・表示管理運営の体制

3-1 / 妥当である

認証林産物の分別・表示管理に係る計画を立てている。

同ネットワーク規約「(分別表示) 統合認定事業体として、SGEC 森林認証された森林から産出される林産物の分別管理と表示管理を的確に推進する」の下、ネットワーク「認証林産物の分別・表示管理方針」及び「認証林産物の分別・表示管理体制」、「認証林産物の分別・表示管理計画」を定めると共に、認証林産物の統一的な帳票・在庫管理及び内部監査の方法を定めた「SGEC 認定事業体総合管理マニュアル」を作成して、統合事業体としての一元的管理計画・体制を整備している。

3-2 / 妥当である

分別できる製造工程である。

認証森林の山土場で、分別する素材生産業を除く構成員については、分別できる土場・倉庫等を有している。

同ネットワーク構成会員の基本的な作業工程における分別・表示の概略は以下の通りである。

- ①素材生産：伐採・搬出から、山土場検収、運材まであり、これらの行程は、認証森林であることの確認を怠らなければ、分別・表示は容易である。
- ②素材の受入・保管：認証林産物と非認証林産物を明確に区分して置き、他の製品等と混在しないように認証林産物であることを表示する。
- ③製材・加工：認証林産物の製材加工・生産にあたっては、期間を定めて集中的に行うことを原則とし、集成材、ペレット等製造工程において、他の林産物の混合が避けられない場合は、混入割合を厳密に計測して表示する。

- ④ **製品の乾燥・保管**：認証林産物の保管場所には、看板を立て、認証林産物は所定の色のバンド等で結束して保管する。
- ⑤ **出荷・流通**：製品マークと伝票の正確な受け渡しと、購入先・数量・販売先・在庫等の認証林産物履歴のコード管理を徹底する。
- ⑥ **建設・土木工事**：仕様書・設計図面等に SGEC 認証材の使用部位等を明記し、現場では、認証林産物と非認証林産物を明確に区分して保管・加工する。
各製造工程で、同ネットワーク「認証林産物の分別・表示管理方針」に基づいた上記管理が実行されることで、分別・表示は可能である。

3-3 / 妥当である

認証林産物の分別・表示管理を行う体制が整っている。

同ネットワーク事務局には、「認証林産物統括管理責任者（以下：統括責任者）」及び、各地区（5 地区）の監査委員からなる「認証監査委員会」が設置され、構成会員の分別・表示、帳簿類管理の個別指導・内部監査を行う体制がとられ、構成会員事業体には、「認証林産物管理責任者」が置かれ、各現場の内部検査や担当者の新規就労時及び配置換え時の分別・表示に関する研修にあたる体制を整えている。

3-4 / 妥当である

分別・表示管理を担当する管理責任者を設置し、自主的に内部検査が行える。

各会員事業体の認証林産物管理責任者は、自社の内部監査を行い、検査時期・現場担当者・検査内容・検査所見・検査者名を記録するとともに、統一書式による「SGEC 認証材入荷・在庫管理表（認証林産物の取扱記録）」を 6 ヶ月ごとに事務局に提出し、ネットワーク「認証審査委員会」は、各構成事業体の内部監査を年に 1 回以上行うことを定めている。

3-5 / 妥当である

職域で適正な内部研修を行っている。

ネットワーク事務局には、統括責任者及び「認証監査委員会」が設置され、構成各事業体に対する個別指導・内部監査を行う体制をとっており、各事業体管理責任者及び担当者に対する研修は、年一回の内部監査時、及び新規就労時等にも実施することとし、その記録を整理している。

3-6 / 妥当である

伝票など帳票類を作成・保存する。

認証林産物と非認証林産物のコード番号は明確に区別する。

同ネットワーク事務局及び各事業体の既存伝票などの帳票類は、電算処理され、適正に管理・保管されていることを確認した。認定後は、ネットワーク共通の「SGEC 認証材入荷・在庫管理表」で管理し、非認証林産物と明確に区別することとしている。

3-7 / 妥当である

定期的に棚卸記録などにより、保管数量の管理を行う。

各事業体の保管数量は、棚卸時にチェックされ、ネットワーク共通の「SGEC 認証材入荷・在庫管理表」を作成し、6ヶ月ごとに事務局に提出される。これら帳票・記録書類のコピーは、事務局で保管され、認証林産物の流通・情報交換、開示に備えることとしている。